

# 会議録

- 1 会議の名称 平成29年度第6回社会教育委員会議
- 2 開催日時 平成30年3月26日(月)午後7時00分～8時25分
- 3 開催場所 熊取交流センター(煉瓦館) 講義室A
- 4 議 題 案件1 平成30年度社会教育事業計画(案)について  
その他
- 5 公開・非公開の別 全部公開
- 6 傍聴者数 1人

## 7 審議等の概要

### ○案件1 平成30年度社会教育事業計画(案)について

事務局から、計画の位置づけ、構成、凡例等について及び計画内容について説明を行いました。

### 【委員からの主な意見と事務局の回答】

- ・職員研修について、図書館では、カウンター業務の研修について記載しているが、他の施設でも必要ではないか。
- ・町民会館・公民館の指定管理者制度の導入は決定事項なのか。図書館はどうか。  
→(事務局)

町民会館・公民館については、町の方針として、導入が決定されている。どの業務について、導入するのか等の議論意見をお願いしたい。図書館については、導入検討のレベルとお考えいただきたい。

- ・煉瓦館や中家住宅の指定管理者制度の導入についての方針はどうなっているのか。その点はわかりやすく記述いただきたい。職員がやっている講座事業なども、指定管理者に任せる可能性はあるのか。  
→(事務局)

(制度導入については、)町民会館・公民館と図書館の中間的な位置づけであると思

う。(講座事業等を指定管理者に任せることについては)これから検討する。

- 平成22年度に、指定管理者制度導入について、検討した経緯があり、町民会館・公民館については、人件費削減等の効果はあまりないということではなかったか。耐震工事がされてない中で、指定管理者制度を導入するのは疑問である。社会教育委員会議では、専門職をおくことなどの条件をつけることなどについて、意見を言えるのではないか。
- 29ページ「史跡日根荘遺跡保存活用計画」について、資料提供をお願いしたい。
- 47ページ、社会教育関係団体への支援について、基本は自主活動であるということは理解できるが、地域防災等の観点からも、地域のコミュニティ団体が減少していくことに歯止めをきかせる方策はないものか。
- 53ページ、学校支援地域本部事業については、マンネリ化してきているところがある。他市町のすぐれた取組を導入するなど検討してはどうか。
- この社会教育事業計画(案)は行革の影響がかなり出ているが、社会教育・生涯学習関わる者が一丸となって、第4次生涯学習推進計画に基づいて、各施策・事業を展開してもらいたい。
- 職員研修の生涯学習分野について、社会教育主事の資格認定等が変わることもあって、専門機関での研修も入れていただきたい。
- 42ページ、スポーツリーダーバンクについて、3月に締結されたDASHプロジェクトの協定も踏まえ、この部分でどう連携していくか、大学側とも一緒に考えていていただきたい。

など

この会議での意見は以上で、4月9日までにご意見シートを提出いただき、それらの意見をもとに、平成30年度生涯学習推進計画を策定することとしました。

#### ○その他について

田中委員から、平成29年度大阪府社会教育研究会議の概要報告がありました。

8 会議の情報	名称	社会教育委員会議
	根拠法令等	社会教育委員会議運営規則
	設置期間	昭和57年4月1日～
	所轄事項	教育委員会の社会教育に関する諮問に応じ、これに対して意見を述べること。
	委員数	9人
9 担当課	生涯学習推進課	